

【15年度の主な事業ベスト5】

1	県営普代地区農地開発事業 債務負担金	5,366万円
2	白井漁港改修工事	4,756万円
3	太田名部漁港修築事業地元 負担金	3,200万円
4	村道堀内机線道路改良工事	2,519万円
5	村道普代鳥居線道路改良工 事	1,780万円

【目的別の歳出科目】

公債費	5億9,357万円	(23.5%)	村が借りたお金を返すためのものです。道路を造ったり漁港を整備するとき、村債を発行します。借りたお金は、毎年計画的に返済していきます。
総務費	5億 356万円	(19.9%)	村の財政管理、職員などの給与、OA機器の導入などに使われます。
民生費	3億3,432万円	(13.2%)	老人福祉や児童福祉、児童館の運営費用などに使われます。
農林水産業費	3億2,722万円	(12.9%)	農林水産業の振興や漁港の整備、農林道の整備などに使われます。
教育費	2億2,048万円	(8.7%)	学校の増改築、学校運営、社会教育、生涯学習、文化財保護などの事業に使われます。
消防費	1億4,520万円	(5.7%)	消防団の運営や消防施設の整備、防火対策事業などに使われます。
衛生費	1億1,819万円	(4.7%)	各種検診や予防接種、ごみの処理などに使われます。
土木費	1億 866万円	(4.4%)	道路の舗装や河川の整備、村営住宅建設などのために使われます。
議会費	6,255万円	(2.5%)	村議会の運営や村議会議員の報酬などに使われます。
商工費	4,352万円	(1.7%)	商工業の振興や観光の振興、観光まつりなどに使われます。
その他(労務費、災害復旧費)	7,066万円	(2.8%)	

まず十五年度に一番お金をかけた事業は、県営普代地区農地開発事業債務負担金で5366万円を使いました。次が白井漁港改修工事で4756万円です。以下、主な事業ベスト5を参考にしてください(性質別歳出と目的別歳出については、左下と下表を参考)。

村には六つの特別会計があります。特別会計は、一般会計とは別に、その会計ごとの収入で支出を賄うことを基本とします。十五年度の収入は前

例え国民健康保険特別会計は、村民の皆さんが納めている国民健康保険と国の補助で賄います。村民の皆さんがきちんと納めてくれる税金があつて初めて、村の会計も成り立っていきます。

以上簡単に説明しましたが、国の台所事情と同じで、村の台所も大変厳しいのが現実です。十五年度の収入は前

【性質別の歳出科目】

公債費	5億8,780万円	(23.3%)	国などから借りたお金を返済するための経費
人件費	5億4,371万円	(21.5%)	職員、特別職の給与、議員や各種委員の報酬など
扶助費・補助費	3億8,472万円	(15.2%)	児童福祉法、老人福祉法などに基づいて被扶養者に支給する費用
物件費	3億4,141万円	(13.5%)	賃金、旅費など消費的性質の経費
普通建設事業費	3億2,165万円	(12.7%)	道路、学校、公共施設の新増設など、建設事業に必要な投資的経費
繰出金	1億7,313万円	(6.9%)	国民健康保険事業会計などの特別会計へ支出する経費
積立金	8,156万円	(3.2%)	財政規模や税収に応じて積み立てる経費(基金)
その他(維持補修費ほか)	9,395万円	(3.7%)	

【特別会計】

会計	歳入	歳出	差引額
国民健康保健	5億725万円	4億6,302万円	4,423万円
国民健康保健診療施設	2億5,284万円	2億2,945万円	2,339万円
簡易水道	9,708万円	9,460万円	248万円
休養施設事業	1億5,244万円	3億2,294万円	△1億7,050万円
老人保健事業	3億2,612万円	3億2,543万円	69万円
漁業集落排水事業	2,261万円	2,148万円	113万円

課題は財政の再建

年度に比べ、約三億二千万円も減っています。財政再建は現在、村の大きな課題となつ

ています。これから村政懇談会などで皆さんと一緒に考えて行かなければなりません。